

## 9階北病棟に入院された患者およびご家族様へ

研究：A病院の小児点滴固定における点滴トラブル軽減への取り組みについて

作成日 令和3年10月12日

### 1 本研究の目的

小児科で入院となる患児は、持続的な点滴固定管理が必要となり、刺入部に透明テープを使用し点滴の観察をやすくすることで、刺入部の腫脹や点滴漏れの早期発見に努めています。しかし、現在の点滴固定法においても、体動や患児の状態により、点滴漏れ以外の刺入部のトラブルで、予定の点滴入れ替え日時よりも早期に、固定テープの貼替えや点滴再挿入が行われることがあります。これらの医療行為は、患児にとって大きなストレスやトラウマ体験となり得ます。そのため、処置の侵襲や苦痛の軽減に繋げることを目的とした調査、また固定法の改良を検討しています。

### 2 研究（調査）の方法

調査方法は、現在の固定法において刺入部のトラブルに着目し、トラブルの内容や件数の調査を行います。また得られたデータからトラブルの傾向を把握し、点滴固定法の改善点を検討し、固定法の改良を行います。固定法を見直すことで、点滴のトラブルが減少したかどうかの後調査も実施します。調査では、お子様の年齢、性別、疾患名、点滴の挿入部位、入院0～6日目の点滴刺入部に関する状態について、また、点滴入れ替えや固定テープの貼替えの有無について調査を行います。氏名や住所は収集いたしません。

### 3 研究期間と対象者

研究期間：令和3年12月から令和4年7月まで

対象者：期間内に小児科病棟に入院し輸液療法を受ける0～3歳未満のお子様

### 4 研究結果の公表について

院内の看護研究発表会で発表を行います。

### 5 個人情報の取り扱い、また研究への参加に関して

この研究への参加は任意です。本研究は、当院の倫理審査委員会で承認を得ています。得られたデータを個人が特定できないよう管理し、個人情報を保護します。データの使用を希望されない場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。不参加の場合も、診療やケア内容には何ら影響はありません。

### 6 研究責任者および研究者、連絡先

研究責任者：看護師長 藤本雅子

主研究者：看護師 坂上真依、共同研究者：山田拓馬、坂東めぐみ、井川恵実子、諏訪知穂

お問い合わせ先：〒770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3

徳島県立中央病院 9階北病棟 TEL：088-631-7151（代表）

FAX：088-631-8354